

令和8年9月11日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖小学校
校長 古賀 泰伸

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査について

令和8年4月23日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・学習指導要領の内容の平均正答率の状況で見ると以下の通りです。

【知識及び技能】

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項・・・全国の平均正答率を上回る。
- (2) 情報の扱い方に関する事項・・・全国の平均正答率を大きく下回る。

【思考力、判断力、表現力等】

A 話すこと・聞くこと・・・全国の平均正答率と同程度。

B 書くこと・・・全国の平均正答率を下回る。

C 読むこと・・・全国の平均正答率を上回る。

- ・問題形式別で見ると以下の通りです。
選択式・・・全国の平均正答率を下回る。
短答式・・・全国の平均正答率を上回る。
記述式・・・全国の平均正答率を上回る。
- ・「資料から適切な部分を引用して自分の考えを記述する問題」や、「考えとその理由等の関係について理解する問題」での正答率が特に低い傾向にありました。これらの誤答の原因として、メモから言葉や文を取り上げて書くことはできているものの、文章を読み取って自分の考えを書くことができていないことが考えられます。また、問題文や本文に示されている情報を正確に読み取り、必要な情報を整理した上で解答する力が十分に身に付いていないことが主な原因として考えられます。特に、自分の知識やイメージを優先してしまい、本文中の根拠と結び付けて考えることができていない可能性があります。

(2)算数について

- ・全体の平均正答率は、全国平均を上回っていました。
- ・学習指導要領の領域の平均正答率の状況で見ると以下の通りです。
 - A 数と計算・・・全国の平均正答率と同程度。
 - B 図形・・・全国の平均正答率を上回る。
 - C 測定・・・全国の平均正答率を上回る。
 - C 変化と関係・・・全国の平均正答率を下回る。
 - D データの活用・・・全国の平均正答率と同程度。
- ・問題形式別で見ると以下の通りです。
 - 選択式・・・全国の平均正答率と同程度。
 - 短答式・・・全国の平均正答率を上回る。
 - 記述式・・・全国の平均正答率を上回る。
- ・表に示された複数の情報を整理し、それぞれの条件を関連付けながら必要な数値を読み取る問題で課題が見られました。誤答の原因として、表全体の構成や数値の意味を十分に捉えられないまま、目についた数値や一部の情報だけを取り出して判断してしまったことが考えられます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校児童の姿

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」に対し、肯定的な回答（「している」「どちらかといえばしている」の合計、以下同様）をした児童は全国平均を大きく上回っていました。
- ・「朝食を毎日食べていますか」に対し肯定的な回答をした児童は全国平均を上回っていました。
- ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」に対し、肯定的な回答をした児童は全国平均を上回っていました。
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」に対し、3時間以上勉強をしていると回答した児童は全国平均を下回っていました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・基礎的・基本的な学習内容の定着のため、タブレット端末等を活用した「ドリルタイム」を全校統一した取り組みとして引き続き実施します。
- ・国語の文章を読む授業では、書かれている内容をただ捉えるだけでなく、「なぜそう考えたのか」「どの部分が根拠になるのか」を意識して読む習慣を身に付けさせていきます。文章中の大切な言葉や情報に着目し、複数の情報を関連付けながら、自分の考えを整理して表現する活動を積み重ねます。
- ・算数の授業では、問題に示された条件や数量の関係を丁寧に整理し、何を求めるのか、どの情報を使うのかを明確にしてから考える習慣を身に付けていきます。特に、表やグラフなどの資料を読み取る際には、複数の情報を関連付けて考える活動を大切にします。
- ・家庭でも次のようなことを心がけてくださると幸いです。

1 家庭での学習時間をつくってください。 学習時間：（10分×学年数字）＋10分

◎学習する時刻や時間帯を決め、学習習慣を身に付けさせてください。

◎テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、長時間にならないようお願いします。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

◎早めに起床させ、朝食を食べさせるようお願いします。

◎本や新聞など、文章に触れる機会を増やしてください。

◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的に褒めてください。